目次

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況　p. 1

①　学生の確保の見通し　p. 1

ア　定員充足の見込み　p. 1

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要　p. 4

②　学生確保に向けた具体的な取組状況　p. 7

（２）人材需要の動向等社会の要請　p. 8

①　人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）　p. 8

②　上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠　p. 8

学生の確保の見通し等を記載した書類
―金沢学院大学栄養学部―

（1）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

栄養学部栄養学科は、現在の人間健康学部健康栄養学科を一つの学部学科として独立させるものであり、学生募集活動も従来実施してきたものを踏襲する予定である。従って、その受験者層は人間健康学部健康栄養学科と大きく変わらないと考える。これより、以下では人間健康学部健康栄養学科の過去の実績及び今年度の志願状況を用いて、栄養学部の定員充足見込みについて述べる。

人間健康学部健康栄養学科では、資料 1 のように、平成 28 年には志願者が 252 人、入学者が 76 人であったものが、平成 29 年には志願者が 215 人（前年比 37 人減）、入学者が 67 人（前年比 9 人減）となり、平成 30 年の志願者が 201 人（前年比 14 人減）、入学者が 76 人（9 人増）を経て、平成 31 年の志願者が 275 人（前年比 74 人増）、入学者が 77 人（前年比 1 人増）に至っている。このように平成 29 年、平成 30 年の志願者に減少傾向が見られたが、後述する本学の着実な学生募集活動により平成 31 年には志願者が大きく増え、その増加傾向は令和 2 年度の志願者数が 337 人（62 人増）、入学者が 80 人（前年比 3 人増）となることより確認できる。

今般の栄養学部栄養学科の届出設置における入学定員数設定の根拠は、下の表 1 のように考える。平成 28 年度から令和 2 年度の受験者は年度によって多少の差異はあるが平均で 254.2 人、受験者前年度比は 109.9%、また合格率は 66.2%、歩留り率は 46.4%となっている（資料 1 参照）。ここで、令和 3 年度の入学定員数を設定するにあたり、令和 2 年度の受験実績を参照する。令和 2 年度の受験者数が 337 人であり、これは令和 3 年度も維持できると考える。新しく設置する栄養学部栄養学科は、その前身である人間健康学部健康栄養学科と同様に管理栄養士養成課程であることより、令和 3 年度の合格率を 51.4%とし、歩留り率が 46.4%と同程度であると考えると、令和 3 年度の入学者推定値は 80 人と想定される。

（表 1　栄養学部栄養学科　令和 3 年度入学者数推定値）

	志願者	受験者	合格率	合格者	歩留り率	入学者	参考)過去 5 年平均合格率
令和２年度	337 人	337 人	51.9%	175 人	46.4% (過去 5 年平均)	80 人	66.2%
令和３年度 (推定)	337 人	337 人	51.4%	173 人	46.4%	80 人	

人間健康学部健康栄養学科の受験者が増加傾向にありながら安定して推移していることは、表2にあるとおり平成28年度に受験者が251人であったものが令和2年度に337人へと1.34倍になっていることに表れている。同様の数値が、エントリー入試をスタートし25人が受験したほか、推薦入試では1.11倍、一般入試では1.65倍、センター試験利用入試では同数となっている。これらの数値より、人間健康学部健康栄養学科の受験者はほとんどの受験区分において増加傾向にありながら安定して推移していることが分かる。その中でも、一般入試における増加が最も大きいことより、人間健康学部健康栄養学科の受験者数が安定して推移しているだけではなく、その受験生の学力が上昇傾向にあることを示しており、この傾向が今後も継続する証左であると考える。

（表2　人間健康学部健康栄養学科　入試区分別　平成28年度から令和2年度への受験者数の変化）

受験区分	エントリー入試	推薦入試（附属高校）	一般入試	センター利用入試	合計
平成28年度	－	34（2）人	87人	130人	251人
令和２年度	25人	38（3）人	144人	130人	337人
伸び率(倍)	－	1.11（1.5）	1.65	1.00	1.34

以上より、前述の「設置の趣旨等を記載した書類」にあるように、社会の要請を受け新たに栄養学部を設置するにあたり、適切な定員管理に努める一方、大学経営の基盤安定を図り、アドミッション・ポリシーに適う学ぶ意欲のある優秀な学生を積極的かつ安定的に受け入れるためにも、入学定員をその前身である人間健康学部健康栄養学科と同じく 80 人とすることには妥当性があると考える。

（資料１　人間健康学部健康栄養学科　入学志願状況の推移）

○既設大学等の状況について

令和 2 年 4 月 20 日時点において、平成 30 年 4 月に新たに設置した短期大学幼児教育学科が定員充足率 0.7 倍を下回る結果となった。

幼児教育学科においては、保育士資格取得を卒業要件とし、併せて幼稚園教諭二種免許状を取得できるカリキュラムのもと学生募集を展開し、幼児教育学科が掲げたこれらの特色をオープンキャンパスなどの活動を通じて PR してきたが、他校との違いを明確に打ち出せなかったこともあり、開設初年度である平成 30 年度は入学定員 50 人に対し入学者 31 人と振るわなかった。

この初年度の結果は、2 年目である平成 31 年度に回復が見られた（表 3）。具体的には、学生募集活動は関係する教職員が一丸となり早い段階から積極的に学校訪問を行い、その結果、表 2 のように短期大学幼児教育学科の志願者が 63 人（17 人増）、入学者が 34 人（3 人増）となった。この数値は、本学のオープンキャンパスの参加者により裏付けられる。短期大学幼児教育学科への参加者は、平成 29 年度は 154 人だったのに対して、平成 30 年度は 188 人と 34 人増であった。この数字が線形的に志願者や入学者と結びつくわけではないが、本学の積極的な学生募集活動が定員充足率の回復に大きく貢献しているのは間違いなかったと考える。

しかし、この増加傾向は令和 2 年度へと継続することは難しく、志願者は 40 人（初年度より 6 名減）、入学者が 24 人（初年度より 7 名減）と初年度を下回る結果となった。ただし、平成 31 年度のオープンキャンパス参加者は 174 人であり平成 30 年より 14 人減であるが、一方で初年度より 20 人増となっている。

短期大学幼児教育学科の志願者減は、全国的な傾向として捉えられるものと考える。学校基本調査によると、私立短期大学の志願者は平成 26 年度の 10 万人から平成 31 年度の 7 万 3 千人へと 0.75 倍となるなかで、幼児教育の志願者は 3 万人から 2 万人へと 0.69 倍となっている。また、日本私立大学振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、私立短期大学の志願者においても同時期で 0.78 倍となるなかで、幼児教育系の志願者は 0.66 倍となり、やはり私立短期大学のなかでも幼児教育系の志願者に関して厳しい状況となっている。

しかし一方で、北陸 3 県の幼児教育課程を持つ私立短期大学では、平成 31 年度にて本学を除く 4 校のうち 2 校が定員を満たしている。これは、北陸地方においては未だ保育者養成課程に需要があることを示していると考える。今後、厳しい経済状況下で共働きが増える社会環境の中にあって、幼稚園教諭及び保育士という保育者養成施設の果たす役割は大きいと考え、今後、大学文学部教育学科の保育者養成課程との連携を深め、これまで以上に積極的な学生募集活動を行い、定員充足を目指すこととしたい。

（表 3　開設年度以降の志願者・合格者・入学者の推移）

学部・学科名		平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	増減
短期大学 幼児教育学科	募集定員	50	50	50	―
	志願者	46	63	40	△6
	入学者	31	34	24	△7

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

まず、高校 2 年生を対象とした、進学希望調査アンケートについて述べる（詳細は資料 2 を参照)。この調査は、北陸 3 県と新潟県の高校へ依頼する形で実施し、そのうち 95 校 9,490 人より回答が得られた。アンケートでは、大学進学希望者に対して、進学希望分野を「経済学関係」「経営学関係」「体育学・スポーツ科学関係」及び「家政学（栄養、調理を含む)・生活科学関係」から選んだ者に対して、それぞれ本学の対応する学科への進学を希望するかを調査している。その結果、「家政学（栄養、調理を含む)・生活科学関係」を進学先とした者の中で本学栄養学部栄養学科への進学を希望すると回答したものは 18 人、進学先として検討すると回答した者は 84 人であった（表 4)。

これらより、令和 3 年度の入学者数を次の表 4 のように推定する。

栄養学部栄養学科の場合、進学を希望する 18 人は推薦入試などにより全員、本学科に入学するものとする。また、進学先として検討する 84 人は一般入試やセンター利用入試などにより本学科を受験合格し、今年度の人間健康学部健康栄養学科の入学手続き者における入学率 93.6%（80 人）が入学すると考えると、北陸 3 県と新潟県からの入学者は 98 人と見込まれる。栄養学部栄養学科の前身となる人間健康学部健康栄養学科の特徴として、北陸 3 県及び新潟県からの入学者が、平成 29 年度より 31 年度までの 3 年間で 93.6%と他学科に比べて高いことが挙げられる（資料 3)。しかしその場合でも、これらの県以外の入学者も併せると令和 3 年度の全入学者は 104 人となると推定される。

（表 4　アンケート調査による本学科への入学者数の推定１）

	栄養学部 栄養学科
① 進学を希望する（人）	18
② 進学先として検討する（人）	84
③ 令和 2 年度の入学手続き者における入学率	95.5
①の全員、及び②に③を掛けた者が入学するとした場合の北陸 3 県と新潟県からの入学者	98
北陸 3 県と新潟県からの入学者割合	93.6%
入学者数（人）	104

また、今回、アンケートに回答した者の北陸 3 県及び新潟県の割合より、高校 2 年生全員にアンケートを取った場合の入学者の推定を行う。表 4 の①と②の北陸 3 県及び新潟県における回答者の人数は、表 5 の 1)～8)のようになる。また、学校基本調査より、今回のアンケート回答者の北陸 3 県及び新潟県の高校 2 年生に占める割合は、表 5 に記載されているとおりである。これらの数値より、北陸 3 県及び新潟県の高校 2 年生全員にアンケートを取った場合、表 4 の①と②に対応する数は、表 5 の①と②のように推定され、上述と同じ考察を行うと、各学科の入学者数

は表５のように、栄養学部栄養学科にて 316 人と推定される。

（表５　アンケート調査による本学科への入学者数の推定２）

	栄養学部 栄養学科
1）石川県で進学を希望する（人）	15
2）富山県で進学を希望する（人）	1
3）福井県で進学を希望する（人）	1
4）新潟県で進学を希望する（人）	1
5）石川県で進学先として検討する（人）	40
6）富山県で進学先として検討する（人）	18
7）福井県で進学先として検討する（人）	11
8）新潟県で進学先として検討する（人）	15
石川県におけるアンケート回答者の割合	46.9%
富山県におけるアンケート回答者の割合	27.4%
福井県におけるアンケート回答者の割合	10.2%
新潟県におけるアンケート回答者の割合	5.9%
① 進学を希望する（人）	59
② 進学を検討する（人）	249
③ 令和２年度の入学手続き者における入学率	95.5
①の全員、及び②に③を掛けた者が入学するとした場合の北陸３県と新潟県からの入学者	296
北陸３県と新潟県からの入学者割合	93.6%
入学者数（人）	316

（資料２　進学希望アンケート調査）

（資料３　地域別人間健康学部健康栄養学科への志願者数／入学者数（過去４年間））

次に、前節で本学内の実績を用いて示した定員充足の見込みを、北信越及び全国のデータを用いることにより、多角的に分析する。

前節では、定員充足の見込みを現在の人間健康学部健康栄養学科の過去の実績を用いて示した。その理由は、新しく設置しようと考えている栄養学部栄養学科の学生募集活動は従来通りに実施する予定であることより、受験者層に大きな変化はないと考えるからであった。ここでは、本学がある北信越および全国の入学志願状況の推移により、前述にある本学内の数値による根拠に、

より具体性を持たせる。

まず、人間健康学部健康栄養学科への志願者および入学者について、出身高等学校が所在する都道府県別に比較すると、資料 3 のように石川県、富山県で特に顕著であることが分かる。これは、本学科が地域に根付き地域から期待される教育機関としての評価が定着した結果であり、人間健康学部健康栄養学科を発展的に解消（廃止）して新たに栄養学部栄養学科を届出設置することにより、前述の「設置の趣旨等を記載した書類」にあるように、この傾向は今後も継続することが予想される。

その客観的な根拠となるのは、本学人間健康学部健康栄養学科の入学志願状況の推移に加えて、北信越における栄養系学部・学科の入学志願状況（資料 4）である。新たに設置する予定の栄養学部と競合すると考えられる、北信越の私立大学における栄養系の学部の入学状況は、県別に見ると表 6 のようにまとめられ（詳細は資料 4 を参照）、本学栄養学部と競合校となる北信越の私立大学においては、堅実な入学者数の推移が見られるため、同様にこれまで堅実な志願者及び入学者数の推移が見られた本学人間健康学部健康栄養学科を引きつぐ形で設置する栄養学部栄養学科においても、同様の傾向が期待できる。なお、資料 4 においては、恣意的なデータ操作とならないよう入手可能なデータを全て掲載している。

（表 6　北信越における栄養系の学部・学科の志願者・入学者の推移）

県名		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	伸び率
福井県	志願者（人）	201	177	160	141	0.70
	入学者（人）	71	78	78	72	1.01
新潟県	志願者（人）	－	271	242	231	0.85
	入学者（人）	44	46	43	43	0.98
長野県	志願者（人）	203	208	171	170	0.82
	入学者（人）	83	75	82	64	0.77

この志願者および入学者数の堅実な推移は、全国的な傾向としても裏付けされる。その客観的根拠となるのは、学校基本調査における「関係学科別大学入学状況」である。その中の「就業 4 年の大学」に関するデータを抜粋した資料 5 において、また日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」における主な学部別の志願者・入学者動向（大学）から抜粋した資料 6 においても、今般設置を計画している栄養学部に堅実な推移が見られる。

（資料 3　人間健康学部健康栄養学科への志願者数／入学者数（過去 4 年間））

（資料 4　北信越における栄養系学部・学科の入学状況）

（資料 5　学校基本調査による全国的な志願者数、入学者数の推移）

（資料 6　私立大学・短期大学入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移）

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

健康寿命の延伸が叫ばれる社会情勢のもと、運動と栄養の両面から健康増進を図る重要性から、その人材を担うスポーツ健康学科と健康栄養学科からなる人間健康学部においては、両学科の連携を深め、相互交流できる協力体制のもと学部運営を行ってきた。しかし、スポーツ分野および栄養分野におけるそれぞれの専門性の高度化により、両分野の学問領域が多岐・広範に渡るようになった。実際、スポーツ健康学科の卒業後の就職先は、アスリート、スポーツ指導員、体育教員、公安・公務員、スポーツ産業等であり、医療の現場、学校給食の現場、福祉（児童）の現場、福祉（高齢者・障がい者）の現場、スポーツの現場、社員・学校給食の現場、行政の現場、地域活動の現場、研究・教育機関の現場などで活躍できる人材を就職先と想定する健康栄養学科とは大きく異なっている。この乖離を解消すべく、両学科の学びを学部学科名称により受験生や地域社会によりアピールすることが今回、スポーツ科学部スポーツ科学科及び栄養学部栄養学科を設置する目的である。

栄養学部栄養学科においては、栄養学の観点から人間の食や健康に係る授業科目を体系的に学び、それぞれが希望する進路や学習目的に応じた履修モデルあるいは履修系統図に従って科目選択を行うことより、健康を守るために「どのような食事をどのように摂取すべきか」を学ぶことを目標とし、身体・健康状況のみでなく、生活状況、嗜好など様々な状況を踏まえ、適切な「栄養診断」を踏まえた「栄養の指導」を行い、一人ひとりに応じた栄養管理・食事の方法を指導・提案できる実践力や課題解決力を身に着けた専門性の高い管理栄養士を育成することを目的とする。この教育目標を、従来から行ってきているオープンキャンパスや高校への出張講座等を踏襲しつつ、新しく栄養学部栄養学科とした名称でより分かりやすくなった学びを受験生や地域社会にアピールすることにより、さらに効果的な学生募集活動を行う予定である。

○既設大学等の状況について

前述の通り、令和 2 年 4 月 20 日時点において、平成 30 年 4 月に設置した短期大学幼児教育学科においては、積極的に高校訪問を行い PR 活動を実施してきたが定員充足率 0.7 倍を下回る結果となった。

幼児教育学科においては、2 年目となる平成 30 年度の学生募集においては、近隣の高校に対して学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めており、定員充足率は回復傾向が見られた。それは、前述のようにオープンキャンパスの参加者が平成 29 年度は 154 人だったのに対して、平成 30 年度は 188 人と 34 人増であったことに表れている。

平成 31 年度の学生募集においても、前年度と同様に積極的に活動を行ったものの残念ながら結果に結びつけられず、定員充足率が初年度を下回るものとなってしまった。前述のように、この傾向は全国の短期大学幼児教育課程を持つ学科に共通して見られる傾向であるが、北陸においては定員を満たしている私立短期大学が存在することより、保育者養成課程に対する需要は見込めると考える。設立 3 年目を迎える本学科は、まず、北陸において最も遅く保育者養成課程に参入したという不利な状況を冷静に分析しつつ、今後、厳しい経済状況下で共働きが増える社会環境の中にあって、幼稚園教諭及び保育士という保育者養成施設の果たす社会的役割の大きさを踏

まえ、今後、大学文学部教育学科の保育者養成課程との連携を深める。そして、全学的に機能を強化された「教職センター」との連携も強め、これまで以上に積極的な学生募集活動を行い、学生が保育者となるサポート体制を強化することにより本学科の存在を地域へ広め、定員充足率の回復に努める。

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

栄養学部では、北陸の健康で豊かな暮らしの実現に寄与できる栄養に関する専門家である管理栄養士を養成するとともに、学校における食育の推進に中核的な役割を担う栄養教諭を養成する。そして、教育研究上の目的を次のように設定する。地域のニーズに応える高度な管理栄養士の養成を基本とし、傷病者、要介護者、障がい者の身体や栄養の状態に合わせた栄養管理、乳児から高齢者までの様々なライフステージにおける給食施設での栄養管理・食事サービスのマネジメントを行う保健・医療・福祉の専門家及び栄養教育や健康の維持・増進、さらなる健康寿命の延伸、生活習慣病の重症化予防の中核に資する人材を育成する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

栄養学部栄養学科の前身となる人間健康学部健康栄養学科は、令和 2 年 3 月に初めて 1 期生が卒業した。「資料 7　人間健康学部健康栄養学科　就職状況」にあるとおり、就職希望者における就職見込み者の割合は 100.0%であり、その大部分が管理栄養士の資格を生かしたものとなっている。また、進学が決まっているものが 3 名となっているなど、丁寧な出口指導を行うことできている。

「資料 8　人間健康学部健康栄養学科　令和 2 年 3 月卒業生の業種別就職状況」においては、就職者 70 人に対して、地元企業を中心とする「卸売・小売業」への就職者がトップで 53%（37 人）、「公務員」が 13%（9 人）、「サービス業」が 11%（8 人）、「学校教育・学習支援」が 11%（8 人）となっている。

これら就職状況に示されるように、人間健康学部健康栄養学科の人材育成の方向性は、学科の特長を生かしながら地域社会のニーズに十分応えていると考えることができる。人間健康学部健康栄養学科を発展的に解消（廃止）し、新たに設置する栄養学部栄養学科においては、学科名称が表す明確な学びを基礎として、従来の人間健康学部健康栄養学科を発展させた形での人材育成を実施し、よりいっそう地域の人材需要に応えることができるものと考える。

（資料 7　人間健康学部健康栄養学科　就職内定状況）

（資料 8　人間健康学部健康栄養学科　令和 2 年 3 月卒業生の業種別就職状況）

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料１ 人間健康学部健康栄養学科　入学志願状況の推移

資料２ 進学アンケート調査

資料３ 地域別人間健康学部健康栄養学科への志願者数/入学者数（過去４年間）

資料４ 北信越における栄養学系学部・学科の入学志願状況

資料５ 学校基本調査による全国的な志願者数、入学者数の推移

資料６ 私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

資料７ 人間健康学部健康栄養学科　就職内定状況

資料８ 人間健康学部健康栄養学科　令和２年３月卒業生の業種別就職内定状況

資料１

人間健康学部健康栄養学科　入学志願状況の推移

年度	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	平均
入学定員（人）	80	80	80	80	80	－
志願者（人）	252	215	201	275	337	256.0
受験者（人）	251	213	196	274	337	254.2
エントリー入試（人）	0	10	22	17	25	14.8
推薦入試（人） （附属高校（人））	34 (2)	33 (2)	32 (2)	36 (3)	38 (3)	34.6 (2.4)
一般入試（人）	87	71	58	97	144	91.4
センター試験利用入試（人）	130	98	84	123	130	113.0
社会人（人）	0	1	0	1	0	0.4
志願者前年度比（%）	－	85.3	93.5	136.8	122.5	109.5
受験者前年度比（%）	－	84.9	92.0	139.8	123.0	109.9
合格者（人）	138	159	157	190	175	163.8
入学者（人）	76	67	76	77	80	75.2
エントリー入試（人）	0	5	17	17	20	11.8
推薦入試（人） （附属高校（人））	23 (2)	30 (2)	29 (2)	22 (3)	30 (3)	26.8 (2.4)
一般入試（人）	42	21	15	17	18	22.6
センター試験利用入試（人）	11	11	15	21	12	14.0
社会人（人）	0	0	0	0	0	0.0
合格率（%）	55.0	74.6	80.1	69.3	51.9	66.2
定員充足率（%）	95.0	83.8	95.0	96.3	100.0	94.0
歩留り率（%）	55.1	42.1	48.4	40.5	45.7	46.4

【資料２】

金沢学院大学における収容定員の変更（増加）及び改組に関する
アンケート調査報告書

【高校生対象】

令和２年３月

一般財団法人　日本開発構想研究所

目　　次

＜アンケート調査概要＞ ･･ 1

＜回答者進学意向＞ ･･ 2

＜アンケート回収表＞ ･･ 3

＜アンケート集計結果＞ ･･ 7

単純集計 ･･ 9

男女別クロス集計 ･･････････････････････････････････ 20

＜アンケート調査票＞ ･･ 27

＜アンケート調査概要＞

１．アンケート実施の目的

本調査は、「金沢学院大学　収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票」としてアンケート調査票を作成し、高校生に対して金沢学院大学が収容定員の変更（増加）及び改組を検討している学部学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

２．調査対象

金沢学院大学の立地する石川県に加え、通学可能範囲の富山県、福井県、新潟県の高等学校に対して金沢学院大学より調査依頼を行い、令和元年度の高校 2 年生を対象にアンケートを実施した。

石川県から 45 校、富山県から 28 校、福井県から 9 校、新潟県から 13 校、合計 95 の高等学校からアンケートを回収した。

３．調査実施

令和 2 年 1 月～令和 2 年 3 月

４．調査方法

各高等学校に訪問により配布、郵送により回収

５．回収状況

アンケート回収高校数：95 校

アンケート回収枚数：9,490 枚

＜回答者進学意向＞

高校生を対象とした「金沢学院大学　収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票」において、金沢学院大学が収容定員の変更（増加）及び改組を検討する学部学科へ、回答者の進学意向を問う問７の設問における進学希望者数は以下の通りである。

問７　あなたは問５で選択した分野に関係する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。問５で選択した分野に関係する学科について、a～c の中から１つだけ選び、〇で囲んでください。	実数			
	経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	ｽﾎﾟｰﾂ科学部 ｽﾎﾟｰﾂ科学科	栄養学部 栄養学科
１　進学を希望する	５４人	９人	３６人	１８人
２　進学先として検討する	２３６人	１１０人	１１５人	８４人
合計	２９０人	１１９人	１５１人	１０２人

※問７の設問は、高校卒業後の進路を問う問３の設問において「１　大学進学」を選択した回答者の中から、問５の進学希望分野で「経済学関係」「経営学関係」「体育学・スポーツ科学関係」「家政学（栄養・調理含む）・生活科学関係」のいずれかを選択した回答者を集計の対象とする。

問７の設問の結果、経済学部経済学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は２９０人、経済学部経営学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は１１９人、スポーツ科学部スポーツ科学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は１５１人、栄養学部栄養学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は１０２人いることが明らかとなった。

＜アンケート回収表＞

金沢学院大学　収容定員の変更（増加）及び改組に関する
アンケート調査票　回収表

都道府県	高校 No	高校名	ナンバリング		回収数	回収日
富山県	1	富山県立上市高校	1	138	138	1.30
石川県	2	石川県立金沢北陵高校	139	216	78	1.31
石川県	3	石川県立七尾東雲高校	217	230	14	1.31
石川県	4	石川県立内灘高校	231	270	40	1.31
石川県	5	石川県立小松商業高校	271	336	66	1.31
富山県	6	富山県立雄山高校	337	475	139	2.3
石川県	7	石川県立田鶴浜高校	476	515	40	2.3
石川県	8	石川県立金沢向陽高校	516	551	36	2.3
石川県	9	石川県立羽咋高校	552	741	190	2.3
石川県	10	七尾高校	742	963	222	2.3
石川県	11	石川県立鹿西高校	964	1072	109	2.4
石川県	12	石川県立金沢商業高校	1073	1218	146	2.4
石川県	13	石川県立金沢錦丘高校	1219	1519	301	2.4
石川県	14	石川県立金沢西高校	1520	1670	151	2.4
石川県	15	金沢市立工業高校	1671	1727	57	2.5
石川県	16	石川県立津幡高校	1728	1847	120	2.6
石川県	17	石川県立小松工業高校	1848	1926	79	2.6
石川県	18	石川県立志賀高校	1927	1934	8	2.6
富山県	19	富山県立泊高校	1935	1973	39	2.6
福井県	20	福井商業高校	1974	2050	77	2.6
石川県	21	石川県立能登高校	2051	2088	38	2.7
石川県	22	金沢高校	2089	2300	212	2.7
富山県	23	富山県立新湊高校	2301	2415	115	2.7
石川県	24	石川県立大聖寺実業高校	2416	2427	12	2.10
石川県	25	小松市立高校	2428	2604	177	2.10
石川県	26	石川県立金沢桜丘高校	2605	2796	192	2.10
石川県	27	金沢伏見高校	2797	3052	256	2.10
富山県	28	富山県立富山南高校	3053	3121	69	2.10
石川県	29	石川県立穴水高校	3122	3131	10	2.12
石川県	30	石川県立輪島高校	3132	3224	93	2.12
富山県	31	富山北部高校	3225	3299	75	2.12
富山県	32	入善高校	3300	3374	75	2.12
富山県	33	高岡西高校	3375	3489	115	2.12
石川県	34	北陸学院高校	3490	3651	162	2.13
石川県	35	小松明峰高校	3652	3880	229	2.13
石川県	36	石川県立加賀高校	3881	3904	24	2.14
石川県	37	石川県立翠星高校	3905	3936	32	2.14
富山県	38	富山県立桜井高校	3937	4016	80	2.14
富山県	39	高岡第一高校	4017	4083	67	2.14
富山県	40	富山第一高校	4084	4156	73	2.14
富山県	41	龍谷富山高校	4157	4206	50	2.14
富山県	42	富山県立水橋高校	4207	4320	114	2.14
福井県	43	福井県立武生東高校	4321	4403	83	2.14
新潟県	44	高田北城高校	4404	4479	76	2.14
新潟県	45	新潟明訓高校	4480	4552	73	2.14
石川県	46	小松大谷高校	4553	4703	151	2.17
石川県	47	石川県立金沢中央高校	4704	4731	28	2.17
石川県	48	石川県立門前高校	4732	4765	34	2.17
石川県	49	石川県立宝達高校	4766	4777	12	2.17
石川県	50	石川県立工業高校	4778	4901	124	2.17 2.18
富山県	51	伏木高校	4902	5002	101	2.17

都道府県	高校No	高校名	ナンバリング		回収数	回収日
富山県	52	魚津高校	5003	5082	80	2.17
富山県	53	富山県立南砺福野高校	5083	5199	117	2.17
富山県	54	富山県立氷見高校	5200	5314	115	2.17
富山県	55	高岡向陵高校	5315	5394	80	2.17
富山県	56	高岡工芸高校	5395	5472	78	2.17
福井県	57	福井県立羽水高校	5473	5585	113	2.17
福井県	58	啓新高校	5586	5612	27	2.17
福井県	59	福井県立足羽高校	5613	5645	33	2.17
福井県	60	丸岡高校	5646	5754	109	2.17
新潟県	61	関根学園高校	5755	5812	58	2.17
富山県	62	志貴野高校	5813	5847	35	2.18
福井県	63	北陸高校	5848	5988	141	2.18
新潟県	64	新潟第一高校	5989	6101	113	2.18
新潟県	65	日本文理高校	6102	6233	132	2.18
石川県	66	石川県立鶴来高校	6234	6330	97	2.19
富山県	67	大門高校	6331	6437	107	2.19
富山県	68	富山県立南砺福光高校	6438	6508	71	2.19
富山県	69	石動高校	6509	6619	111	2.19
富山県	70	富山いずみ高校	6620	6765	146	2.19
富山県	71	富山県立高岡商業高校	6766	6845	80	2.20
福井県	72	福井県立大野高校	6846	6875	30	2.20
新潟県	73	北越高校	6876	6932	57	2.20
石川県	74	石川県立羽咋工業高校	6933	6961	29	2.21
石川県	75	石川県立金沢二水高校	6962	7144	183	2.21
石川県	76	遊学館高校	7145	7308	164	2.21
富山県	77	富山県立新川みどり野高校	7309	7333	25	2.21
新潟県	78	新潟県立糸魚川高校	7334	7399	66	2.21
新潟県	79	新潟県立十日町高校	7400	7472	73	2.21
石川県	80	鵬学園高校	7473	7565	93	2.25
富山県	81	富山県立富山西高校	7566	7706	141	2.25
新潟県	82	東京学館新潟高校	7707	7904	198	2.25
新潟県	83	新潟県立巻高校	7905	7980	76	2.25
石川県	84	金沢辰巳丘高校	7981	8055	75	2.26
富山県	85	富山県立滑川高校	8056	8135	80	2.26
石川県	86	石川県立飯田高校	8136	8243	108	2.27
石川県	87	大聖寺高校	8244	8395	152	2.28
福井県	88	三国高校	8396	8539	144	2.28
石川県	89	星稜高校	8540	8779	240	3.2
石川県	90	石川県立松任高校	8780	8894	115	3.2
新潟県	91	新発田南高校	8895	8981	87	3.2
新潟県	92	上越高校	8982	9026	45	3.2
新潟県	93	新潟県立新津高校	9027	9060	34	3.3
石川県	94	金沢学院高校	9061	9340	280	3.3
石川県	95	石川県立寺井高校	9341	9490	150	3.3
				合計	9,490 枚	95 校

＜アンケート集計結果＞

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関する
アンケート調査票　単純集計

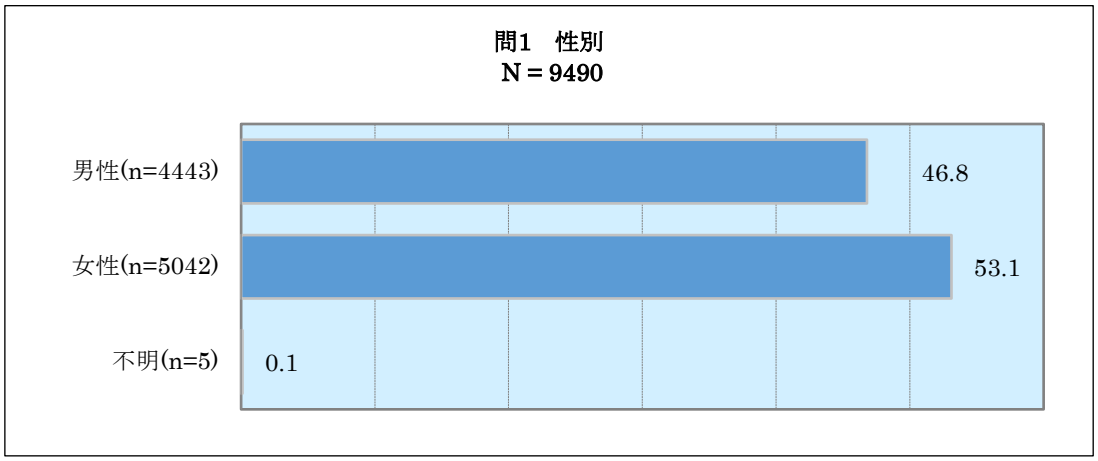
〔有効回答票：9,490 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問１　あなたの性別についておたずねします。次の中から１つだけ選んでください。

回答者（9,490 人）の性別については、5,042 人（53.1%）が「女性」、4,443 人（46.8%）が「男性」である。

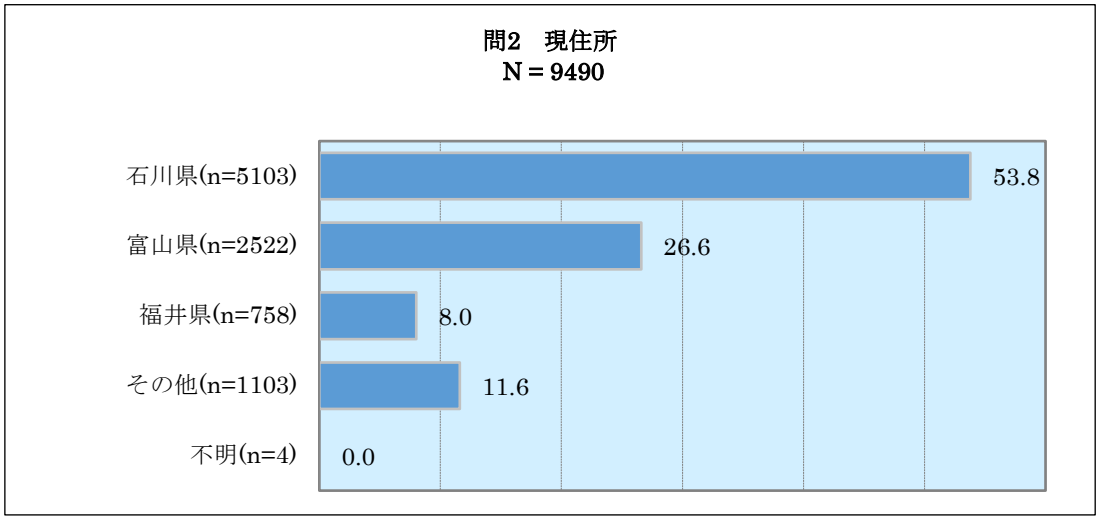
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	4,443	46.8
2	女性	5,042	53.1
	不明	5	0.1
	合計	9,490	100



問２　あなたがお住いの都道府県についておたずねします。次の中から 1 つだけ選んでください。

回答者のうち、5,103 人（53.8%）が「石川県」、2,522 人（26.6%）が「富山県」、758 人（8.0%）が「福井県」在住である。その他の中では、「新潟県」が 915 人となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	石川県	5,103	53.8
2	富山県	2,522	26.6
3	福井県	758	8.0
4	その他	1,103	11.6
	不明	4	0.0
	合計	9,490	100



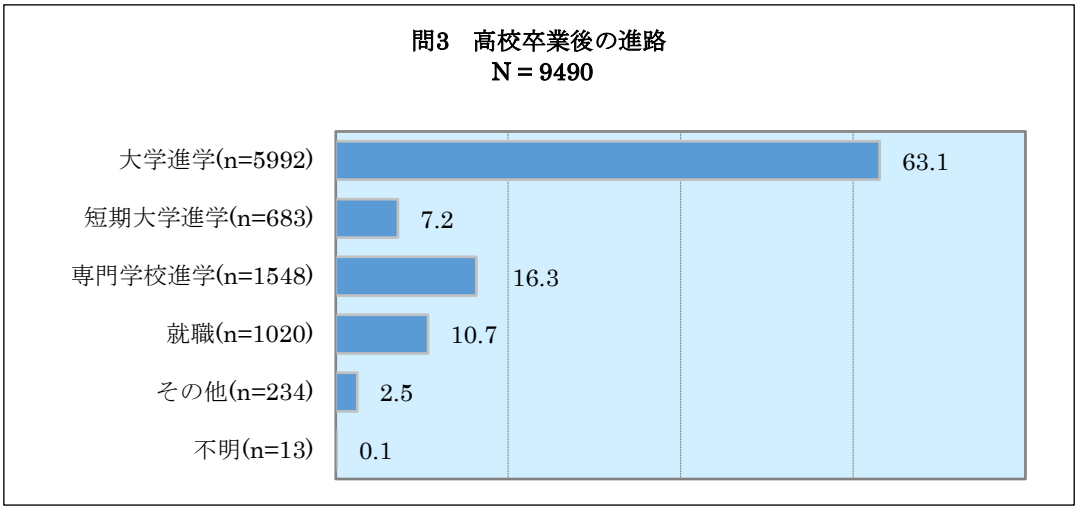
「4 その他」の回答

回答	件数	回答	件数
新潟県	915	長野県	2
愛知県	7	青森県	1
神奈川県	3	千葉県	1
大阪府	3	滋賀県	1
群馬県	2	兵庫県	1
埼玉県	2	島根県	1
東京都	2		

問３　あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を１つだけ選んでください。

回答者の希望進路については、「大学進学」が 5,992 人（63.1%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,548 人（16.3%）、「就職」が 1,020 人（10.7%）、「短期大学進学」が 683 人（7.2%）の順に続いている。

No	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	5,992	63.1
2	短期大学進学	683	7.2
3	専門学校進学	1,548	16.3
4	就職	1,020	10.7
5	その他	234	2.5
	不明	13	0.1
	合計	9,490	100



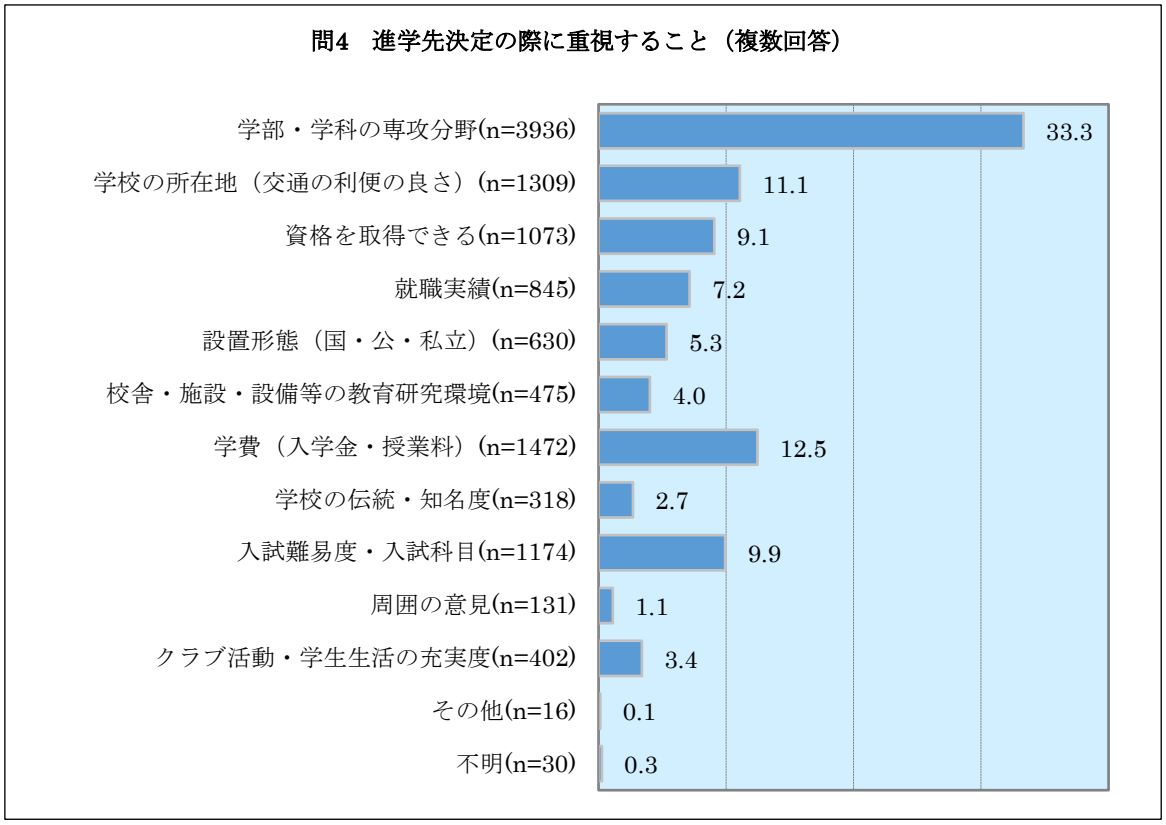
【問４以降は、問３で「1 大学進学」を選択した 5,992 人の回答者を対象とする。】

問４　あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から２つまで選んでください。**（複数回答）**

回答者が進学先を決定する際に重視する事柄については、「学部・学科の専攻分野」が 3,936 人（33.3%）と最も多く、次いで「学費（入学金・授業料）」が 1,472 人（12.5%）、「学校の所在地（交通の利便の良さ）」が 1,309 人（11.1%）の順に続いている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学部・学科の専攻分野	3,936	33.3
2	学校の所在地（交通の利便の良さ）	1,309	11.1
3	資格を取得できる	1,073	9.1
4	就職実績	845	7.2
5	設置形態（国・公・私立）	630	5.3
6	校舎・施設・設備等の教育研究環境	475	4.0
7	学費（入学金・授業料）	1,472	12.5
8	学校の伝統・知名度	318	2.7
9	入試難易度・入試科目	1,174	9.9
10	周囲の意見	131	1.1
11	クラブ活動・学生生活の充実度	402	3.4
12	その他	16	0.1
	不明	30	0.3

（複数回答のため合計＝5,992 にならない）



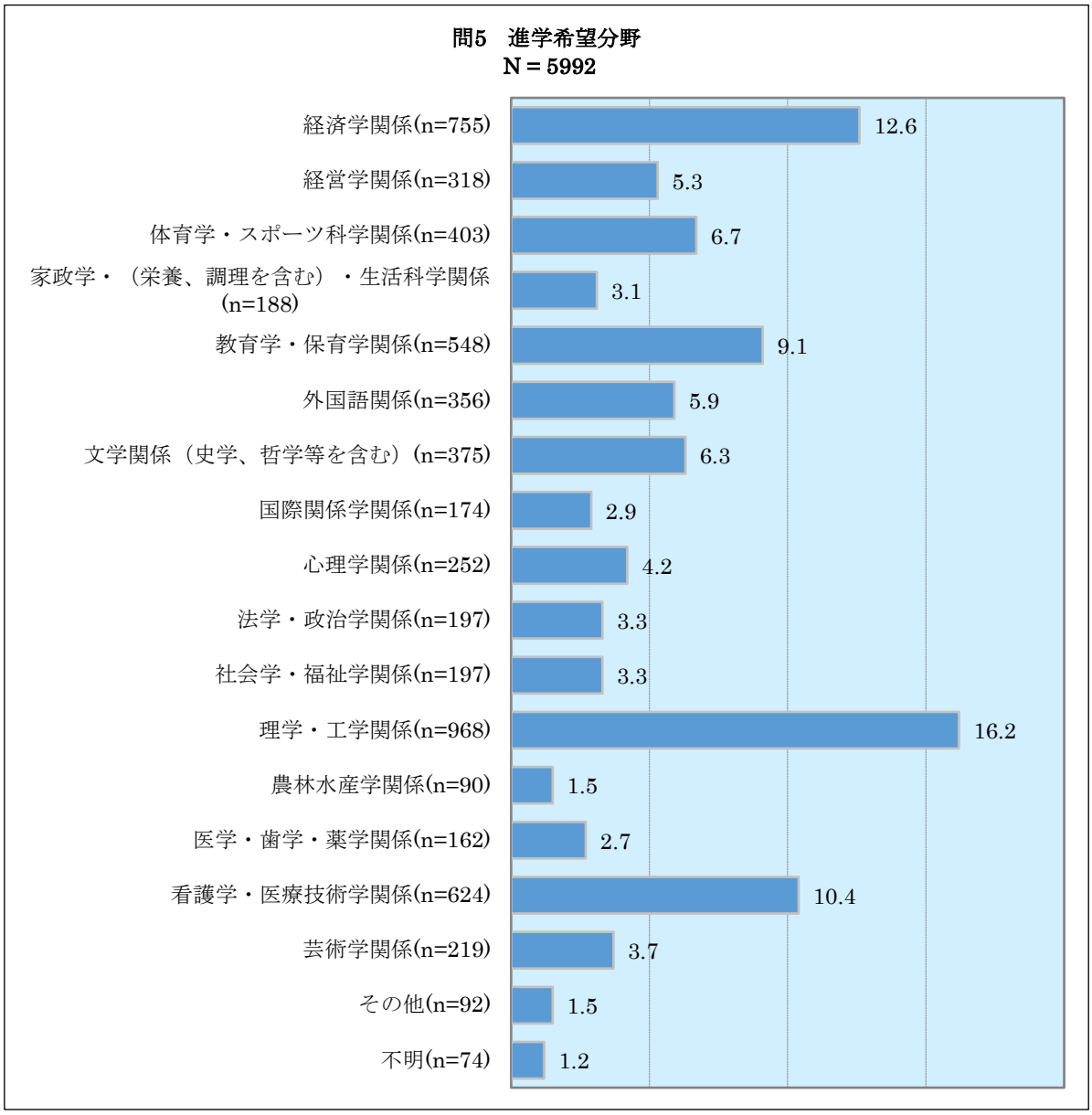
「12 その他」の回答

回答	回答
地域のイベント	やりたい仕事に関すること
留学制度	夢
土地	偏差値
場所	教授
男子のクオリティ	知名度
国	教授、教員の良さ

問５　あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から１つだけ選んでください。

回答者が進学を希望する分野は、「理学・工学関係」が 968 人（16.2%）と最も多く、次いで「経済学関係」が 755 人（12.6%）、「看護学・医療技術学関係」が 624 人（10.4%）となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経済学関係	755	12.6
2	経営学関係	318	5.3
3	体育学・スポーツ科学関係	403	6.7
4	家政学・（栄養、調理を含む）・生活科学関係	188	3.1
5	教育学・保育学関係	548	9.1
6	外国語関係	356	5.9
7	文学関係（史学、哲学等を含む）	375	6.3
8	国際関係学関係	174	2.9
9	心理学関係	252	4.2
10	法学・政治学関係	197	3.3
11	社会学・福祉学関係	197	3.3
12	理学・工学関係	968	16.2
13	農林水産学関係	90	1.5
14	医学・歯学・薬学関係	162	2.7
15	看護学・医療技術学関係	624	10.4
16	芸術学関係	219	3.7
17	その他	92	1.5
	不明	74	1.2
	合計	5,992	100



「17 その他」の回答

回答	件数	回答	件数	回答	件数
未定	14	AI またはゲーミング関係	1	人文	1
情報関係	5	PC 関係	1	政策学関係	1
観光学関係	4	医療関係	1	畜産	1
建築関係	4	映像	1	電子情報	1
服飾関係	3	音楽	1	動物看護学	1
メディア関係	3	航空	1	都市デザイン	1
リハビリ関係	3	コミュニケーション系	1	美容	1
工学関係	2	獣医学	1	仏教	1
地域社会関係	2	食マネジメント	1	保育、教育	1

【問 6 以降は、問 5 で「1、2、3、4」のいずれかを選択した回答者を対象とする。】

問６　あなたは金沢学院大学への受験（一般入試、推薦入試、AO 入試、内部進学を含む）を希望しますか。問５で選択した分野に関係する学科について、a～c の中から１つだけ選び、〇で囲んでください。

問 5 で「1　経済学関係」を選択した回答者の「経済学部経済学科」への受験意向は、「受験を希望する」が 82 人（10.9%）、「受験先として検討する」が 249 人（33.0%）となっており、合計すると 331 人（43.9%）となっている。

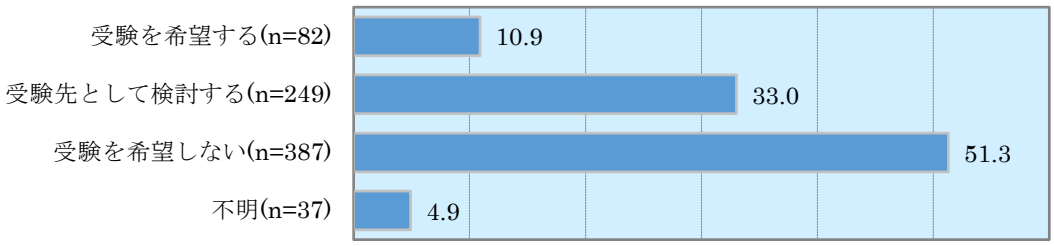
問 5 で「2　経営学関係」を選択した回答者の「経済学部経営学科」への受験意向は、「受験を希望する」が 14 人（4.4%）、「受験先として検討する」が 115 人（36.2%）となっており、合計すると 129 人（40.6%）となっている。

問 5 で「3　体育学・スポーツ科学関係」を選択した回答者の「スポーツ科学部スポーツ科学科」への受験意向は、「受験を希望する」が 44 人（10.9%）、「受験先として検討する」が 123 人（30.5%）となっており、合計すると 167 人（41.4%）となっている。

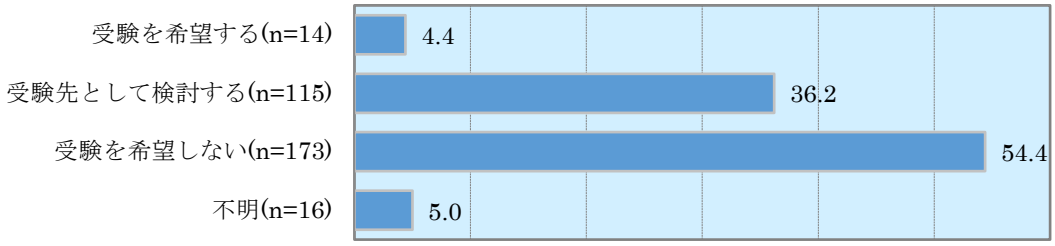
問 5 で「4　家政学・（栄養、調理を含む）・生活科学関係」を選択した回答者の「栄養学部栄養学科」への受験意向は、「受験を希望する」が 21 人（11.2%）、「受験先として検討する」が 90 人（47.9%）となっており、合計すると 111 人（59.1%）となっている。

No	カテゴリ	上段：件数、下段：（全体）%			
		経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	ｽﾎﾟｰﾂ科学部 ｽﾎﾟｰﾂ科学科	栄養学部 栄養学科
1	受験を希望する	82	14	44	21
		10.9	4.4	10.9	11.2
2	受験先として検討する	249	115	123	90
		33.0	36.2	30.5	47.9
3	受験を希望しない	387	173	207	70
		51.3	54.4	51.4	37.2
	不明	37	16	29	7
		4.9	5.0	7.2	3.7
	合計	755	318	403	188
		100	100	100	100

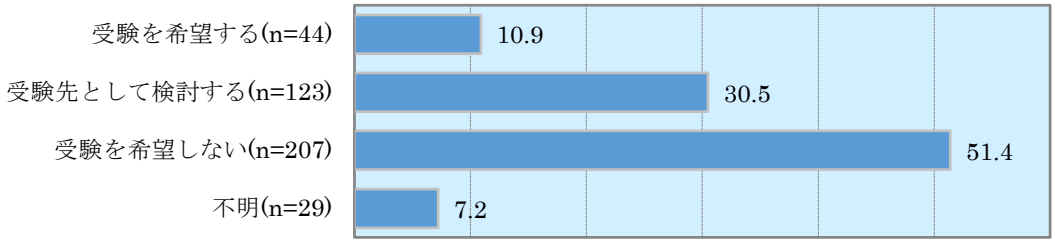
問6-1　経済学部経済学科への受験希望
N = 755



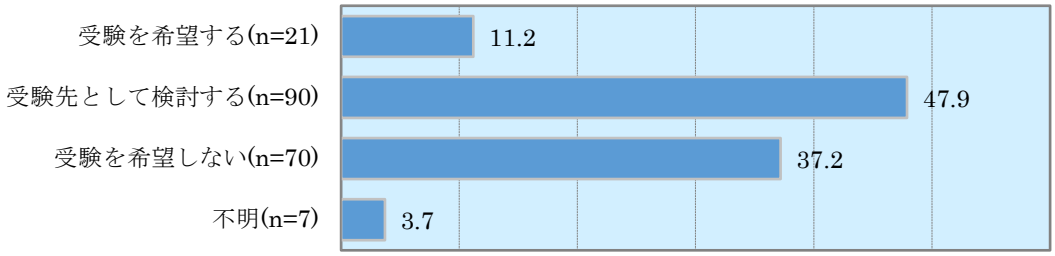
問6-2　経済学部経営学科への受験希望
N = 318



問6-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への受験希望
N = 403



問6-4　栄養学部栄養学科への受験希望
N = 188



問７　あなたは問５で選択した分野に関係する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。
問５で選択した分野に関係する学科について、a～c の中から１つだけ選び、○で囲んでください。

問 5 で「1　経済学関係」を選択した回答者の「経済学部経済学科」への進学意向は、「進学を希望する」が 54 人（7.2%）、「進学先として検討する」が 236 人（31.3%）となっており、合計すると 290 人（38.4%）となっている。

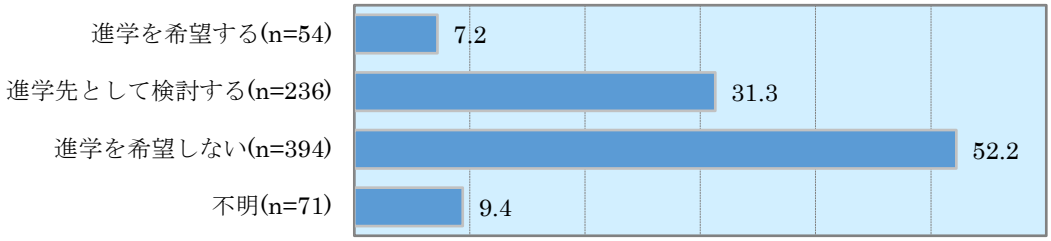
問 5 で「2　経営学関係」を選択した回答者の「経済学部経営学科」への進学意向は、「進学を希望する」が 9 人（2.8%）、「進学先として検討する」が 110 人（34.6%）となっており、合計すると 119 人（37.4%）となっている。

問 5 で「3　体育学・スポーツ科学関係」を選択した回答者の「スポーツ科学部スポーツ科学科」への進学意向は、「進学を希望する」が 36 人（8.9%）、「進学先として検討する」が 115 人（28.5%）となっており、合計すると 151 人（37.5%）となっている。

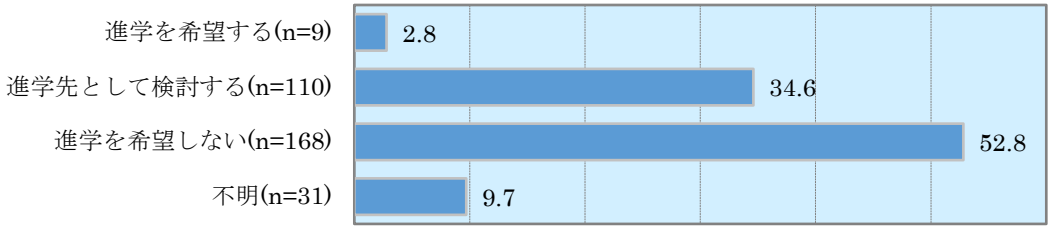
問 5 で「4　家政学・（栄養、調理を含む）・生活科学関係」を選択した回答者の「栄養学部栄養学科」への進学意向は、「進学を希望する」が 18 人（9.6%）、「進学先として検討する」が 84 人（44.7%）となっており、合計すると 102 人（54.3%）となっている。

No	カテゴリ	上段：件数、下段：（全体）%			
		経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	ｽﾎﾟｰﾂ科学部 ｽﾎﾟｰﾂ科学科	栄養学部 栄養学科
1	進学を希望する	54	9	36	18
		7.2	2.8	8.9	9.6
2	進学先として検討する	236	110	115	84
		31.3	34.6	28.5	44.7
3	進学を希望しない	394	168	200	72
		52.2	52.8	49.6	38.3
	不明	71	31	52	14
		9.4	9.7	12.9	7.4
	合計	755	318	403	188
		100	100	100	100

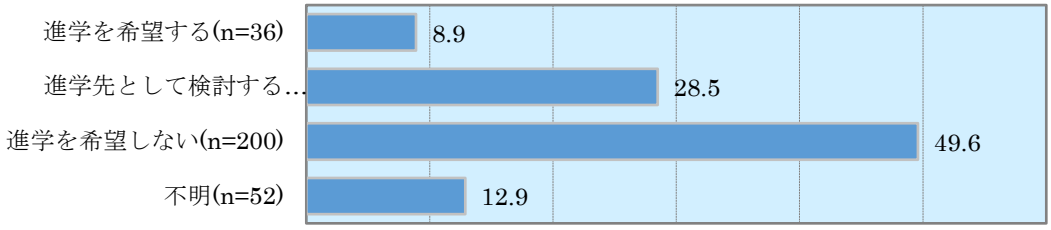
問7-1　経済学部経済学科への進学希望
N = 755



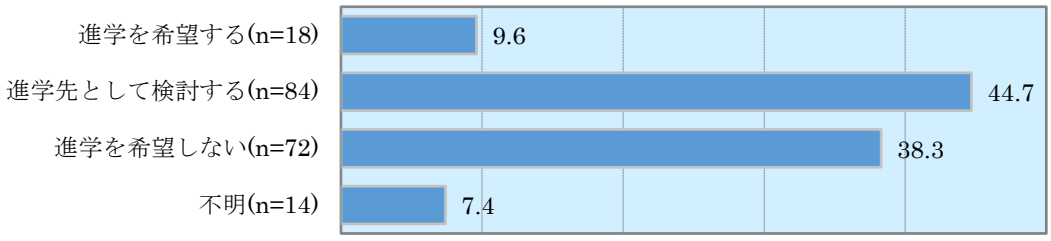
問7-2　経済学部経営学科への進学希望
N = 318



問7-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への進学希望
N = 403



問7-4　栄養学部栄養学科への進学希望
N = 188



○男女別クロス集計

問１　性別　×　問２　現住所

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問２　現住所	全体	9,490	4,443	5,042	5
		100.0	100.0	100.0	100.0
	石川県	5,103	2,354	2,747	2
		53.8	53.0	54.5	40.0
	富山県	2,522	1,190	1,332	－
		26.6	26.8	26.4	－
	福井県	758	348	410	－
		8.0	7.8	8.1	－
	その他	1,103	550	551	2
		11.6	12.4	10.9	40.0
	不明	4	1	2	1
		－	－	－	20.0

問１　性別×問３　高校卒業後の進路

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問３　高校卒業後の進路	全体	9,490	4,443	5,042	5
		100.0	100.0	100.0	100.0
	大学進学	5,992	3,061	2,929	2
		63.1	68.9	58.1	40.0
	短期大学進学	683	105	578	－
		7.2	2.4	11.5	－
	専門学校進学	1,548	500	1,048	－
		16.3	11.3	20.8	－
	就職	1,020	616	403	1
		10.7	13.9	8.0	20.0
	その他	234	160	73	1
		2.5	3.6	1.4	20.0
	不明	13	1	11	1
		0.1	－	0.2	20.0

問１　性別　×　問４　進学先決定の際に重視すること（複数回答）

	上段:度数	問１　性別			
	下段:％	合計	男性	女性	不明
問４　進学先決定の際に重視すること（複数回答）	全体	11,811	6,016	5,791	4
		100.0	100.0	100.0	100.0
	学部・学科の専攻分野	3,936	1,865	2,071	－
		33.3	31.0	35.8	－
	学校の所在地（交通の利便の良さ）	1,309	695	614	－
		11.1	11.6	10.6	－
	資格を取得できる	1,073	456	617	－
		9.1	7.6	10.7	－
	就職実績	845	474	371	－
		7.2	7.9	6.4	－
	設置形態（国・公・私立）	630	289	341	－
		5.3	4.8	5.9	－
	校舎・施設・設備等の教育研究環境	475	261	214	－
		4.0	4.3	3.7	－
	学費（入学金・授業料）	1,472	735	737	－
		12.5	12.2	12.7	－
	学校の伝統・知名度	318	195	121	2
		2.7	3.2	2.1	50.0
	入試難易度・入試科目	1,174	634	540	－
		9.9	10.5	9.3	－
	周囲の意見	131	88	41	2
		1.1	1.5	0.7	50.0
	クラブ活動・学生生活の充実度	402	302	100	－
		3.4	5.0	1.7	－
	その他	16	7	9	－
		0.1	0.1	0.2	－
	不明	30	15	15	－
		0.3	0.2	0.3	－

（複数回答のため合計＝5,992 にならない）

問１　性別 × 問５　進学希望分野

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問５　進学希望分野	全体	5,992	3,061	2,929	2
		100.0	100.0	100.0	100.0
	経済学関係	755	567	187	1
		12.6	18.5	6.4	50.0
	経営学関係	318	187	131	－
		5.3	6.1	4.5	－
	体育学・スポーツ科学関係	403	311	92	－
		6.7	10.2	3.1	－
	家政学・（栄養、調理を含む）・生活科学関係	188	24	164	－
		3.1	0.8	5.6	－
	教育学・保育学関係	548	195	353	－
		9.1	6.4	12.1	－
	外国語関係	356	85	270	1
		5.9	2.8	9.2	50.0
	文学関係（史学、哲学等を含む）	375	178	197	－
		6.3	5.8	6.7	－
	国際関係学関係	174	42	132	－
		2.9	1.4	4.5	－
	心理学関係	252	98	154	－
		4.2	3.2	5.3	－
	法学・政治学関係	197	113	84	－
		3.3	3.7	2.9	－
	社会学・福祉学関係	197	65	132	－
		3.3	2.1	4.5	－
	理学・工学関係	968	840	128	－
		16.2	27.4	4.4	－
	農林水産学関係	90	48	42	－
		1.5	1.6	1.4	－
	医学・歯学・薬学関係	162	75	87	－
		2.7	2.5	3.0	－
	看護学・医療技術学関係	624	96	528	－
		10.4	3.1	18.0	－
	芸術学関係	219	49	170	－
		3.7	1.6	5.8	－
	その他	92	45	47	－
		1.5	1.5	1.6	－
	不明	74	43	31	－
		1.2	1.4	1.1	－

問１　性別　×　問 6-1　経済学部経済学科への受験希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 6-1　経済学部経済学科への受験希望	全体	755	567	187	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
	受験を希望する	82	70	12	－
		10.9	12.3	6.4	－
	受験先として検討する	249	195	54	－
		33.0	34.4	28.9	－
	受験を希望しない	387	272	114	1
		51.3	48.0	61.0	100.0
	不明	37	30	7	－
		4.9	5.3	3.7	－

問１　性別　×　問 6-2　経済学部経営学科への受験希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 6-2　経済学部経営学科への受験希望	全体	318	187	131	－
		100.0	100.0	100.0	－
	受験を希望する	14	11	3	－
		4.4	5.9	2.3	－
	受験先として検討する	115	71	44	－
		36.2	38.0	33.6	－
	受験を希望しない	173	95	78	－
		54.4	50.8	59.5	－
	不明	16	10	6	－
		5.0	5.3	4.6	－

問１　性別　×　問 6-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への受験希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 6-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への受験希望	全体	403	311	92	－
		100.0	100.0	100.0	－
	受験を希望する	44	36	8	－
		10.9	11.6	8.7	－
	受験先として検討する	123	91	32	－
		30.5	29.3	34.8	－
	受験を希望しない	207	156	51	－
		51.4	50.2	55.4	－
	不明	29	28	1	－
		7.2	9.0	1.1	－

問１　性別　×　問 6-4　栄養学部栄養学科への受験希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 6-4　栄養学部栄養学科への受験希望	全体	188	24	164	－
		100.0	100.0	100.0	－
	受験を希望する	21	2	19	－
		11.2	8.3	11.6	－
	受験先として検討する	90	14	76	－
		47.9	58.3	46.3	－
	受験を希望しない	70	6	64	－
		37.2	25.0	39.0	－
	不明	7	2	5	－
		3.7	8.3	3.0	－

問１　性別　×　問 7-1　経済学部経済学科への進学希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 7-1　経済学部経済学科への進学希望	全体	755	567	187	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
	進学を希望する	54	49	5	－
		7.2	8.6	2.7	－
	進学先として検討する	236	185	51	－
		31.3	32.6	27.3	－
	進学を希望しない	394	276	117	1
		52.2	48.7	62.6	100.0
	不明	71	57	14	－
		9.4	10.1	7.5	－

問１　性別　×　問 7-2　経済学部経営学科への進学希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 7-2　経済学部経営学科への進学希望	全体	318	187	131	－
		100.0	100.0	100.0	－
	進学を希望する	9	7	2	－
		2.8	3.7	1.5	－
	進学先として検討する	110	70	40	－
		34.6	37.4	30.5	－
	進学を希望しない	168	91	77	－
		52.8	48.7	58.8	－
	不明	31	19	12	－
		9.7	10.2	9.2	－

問１　性別　×　問 7-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への進学希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 7-3　ｽﾎﾟｰﾂ科学部ｽﾎﾟｰﾂ科学科への進学希望	全体	403	311	92	－
		100.0	100.0	100.0	－
	進学を希望する	36	30	6	－
		8.9	9.6	6.5	－
	進学先として検討する	115	85	30	－
		28.5	27.3	32.6	－
	進学を希望しない	200	150	50	－
		49.6	48.2	54.3	－
	不明	52	46	6	－
		12.9	14.8	6.5	－

問１　性別　×　問 7-4　栄養学部栄養学科への進学希望

	上段:度数	問１　性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問 7-4　栄養学部栄養学科への進学希望	全体	188	24	164	－
		100.0	100.0	100.0	－
	進学を希望する	18	1	17	－
		9.6	4.2	10.4	－
	進学先として検討する	84	15	69	－
		44.7	62.5	42.1	－
	進学を希望しない	72	5	67	－
		38.3	20.8	40.9	－
	不明	14	3	11	－
		7.4	12.5	6.7	－

＜アンケート調査票＞

＜高校２年生対象＞

金沢学院大学　収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票

金沢学院大学では、入学志願倍率の緩和と地域社会で必要とされる人材の育成などの要請に応えるため、下記のとおり収容定員の増加及び改組（学科の設置）を行うこととしました。

このアンケートは、**無記名式で、**高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、各学科の収容定員の増加及び改組（学科の設置）するための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では該当する番号に○をつけてください。

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

◆収容定員の増加予定学科：

経済学部　経済学科　（入学定員 90 名）
　　経営学科　（入学定員 90 名）

◆改組予定の学科：

スポーツ科学部（仮称）　スポーツ科学科（仮称）　（入学定員 150 名）
栄養学部（仮称）　栄養学科（仮称）　（入学定員 80 名）

※令和 3 年 4 月に、人間健康学部のスポーツ健康学科をスポーツ科学部スポーツ科学科（仮称）に、同学部の健康栄養学科を栄養学部栄養学科（仮称）に改組、設置する計画をしています。

◆収容定員の増加及び改組（学科の設置）予定時期：2021 年 4 月（令和 3 年 4 月）

◆収容定員の増加及び改組（学科の設置）予定場所：石川県金沢市末町 10
（アクセス）金沢駅からバスで約 35 分、香林坊からバスで約 20 分。

----------以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）----------

問１　あなたの性別についておたずねします。次の中から**１つだけ**選んでください。　【回答欄】

１　男性
２　女性

問２　あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から**１つだけ**選んでください。

１　石川県
２　富山県
３　福井県
４　その他（具体的に　　）

問３　あなたの進路についておたずねします。
あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**１つだけ**選んでください。

１　大学進学 → 問４以降へお進みください。
２　短期大学進学
３　専門学校進学
４　就職
５　その他

これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

（裏面に続く）

【問3で「1」を選択された方は問4に進んでください。「2, 3, 4, 5」を選択された方は、アンケートは終わりになります。】

問４　あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から**２つまで**選んでください。

1　学部・学科の専攻分野
2　学校の所在地（交通の利便の良さ）
3　資格を取得できる
4　就職実績
5　設置形態（国・公・私立）
6　校舎・施設・設備等の教育研究環境
7　学費（入学金・授業料）
8　学校の伝統・知名度
9　入試難易度・入試科目
10　周囲の意見
11　クラブ活動・学生生活の充実度
12　その他（　　）

問５　あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**１つだけ**選んでください。

1　経済学関係
2　経営学関係
3　体育学・スポーツ科学関係
4　家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係
5　教育学・保育学関係
6　外国語関係
7　文学関係（史学、哲学等を含む）
8　国際関係学関係
9　心理学関係
10　法学・政治学関係
11　社会学・福祉学関係
12　理学・工学関係
13　農林水産学関係
14　医学・歯学・薬学関係
15　看護学・医療技術学関係
16　芸術学関係
17　その他（　　）

問５において、

・「１　経済学関係」「２　経営学関係」「３　体育学・スポーツ科学関係」「４　家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係」のいずれかを選択された方は問６以降へお進みください。

・「５～１７」を選択された方は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問６以降は、金沢学院大学が、収容定員の増加及び改組（学科の設置）を計画している「経済学部」・「スポーツ科学部（仮称）」・「栄養学部（仮称）」の各学科についておたずねします。アンケートに同封しているリーフレットをご覧いただきながらご回答ください。

【問６以降は、問５で「1、２、３、４」を選択された方が対象となります。】

問６　あなたは金沢学院大学への受験（一般入試、推薦入試、AO 入試、内部進学を含む）を希望しますか。
問５で選択した分野に関係する学科について、a～c の中から１つだけ選び、○で囲んでください。

	学部学科	受験を希望する	受験先として検討する	受験を希望しない
問5で「1　経済学関係」を選んだ方 →	1　経済学部 経済学科	a	b	c
問5で「2　経営学関係」を選んだ方 →	2　経済学部 経営学科	a	b	c
問5で「3　体育学・スポーツ科学関係」を選んだ方 →	3　スポーツ科学部（仮称） スポーツ科学科（仮称）	a	b	c
問5で「4　家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係」を選んだ方 →	4　栄養学部（仮称） 栄養学科（仮称）	a	b	c

問７　あなたは問５で選択した分野に関係する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。
問５で選択した分野に関係する学科について、a～c の中から１つだけ選び、○で囲んでください。

	学部学科	進学を希望する	進学先として検討する	進学を希望しない
問5で「1　経済学関係」を選んだ方 →	1　経済学部 経済学科	a	b	c
問5で「2　経営学関係」を選んだ方 →	2　経済学部 経営学科	a	b	c
問5で「3　体育学・スポーツ科学関係」を選んだ方 →	3　スポーツ科学部（仮称） スポーツ科学科（仮称）	a	b	c
問5で「4　家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係」を選んだ方 →	4　栄養学部（仮称） 栄養学科（仮称）	a	b	c

《参考》

◆近隣にある私立大学の学部・学科の学納金　　＜令和２年度入学生用としてホームページから抜粋＞

＜経済学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
石川県	金沢星稜大学	経済学部	経済学科 経営学科	120,000	690,000	330,000	1,140,000
石川県	北陸大学	経済経営学部	マネジメント学科	200,000	650,000	300,000	1,150,000
富山県	富山国際大学	現代社会学部	現代社会学科 経営情報専攻	200,000	680,000	300,000	1,180,000

＜スポーツ科学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
石川県	金沢星稜大学	人間科学部	スポーツ学科	120,000	750,000	360,000	1,230,000
福井県	福井工業大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	250,000	880,000	370,000	1,500,000

＜栄養学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
福井県	仁愛大学	人間生活学部	健康栄養学科	250,000	800,000	160,000	1,210,000
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康栄養学科	350,000	1,000,000	500,000	1,850,000

＊＊＊　以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。　＊＊＊

金沢学院大学

2021年4月 新設及び入学定員の増加を計画している学部・学科

（認可申請予定のため変更がある場合があります）

2020年4月新設

経済学部 経済学科

入学定員 80名→90名

データに基づく現状分析から課題解決へ

経済学科では、現在の経済社会の課題を解決する力を身に付けます。経済データの分析方法を習得し、地域経済の課題の所在をシャープに切り出すとともに、根拠に基づいた解決策を提案できる力を養います。経済学科では、公務員や地域の中核的な企業で働く、地域づくりの先導役となる人材を育てます。

2020年4月新設

経営学部 経営学科

入学定員 60名→90名

経営データに基づき意思決定ができる人材を育成

経営学科では、客観的データを基に組織運営の意思決定ができる力を身に付けます。企業の成績表である財務諸表を読み取る力を習得するとともに、地域社会のニーズをくみ取る力を養います。経営学科では、地域経済をけん引する企業の適切なマネジメントを通じて、地域社会に貢献できる人材を育てます。策を提案できる力を養います。

2021年4月設置構想中

スポーツ科学部 スポーツ科学科

入学定員 150名

スポーツ科学理論に基づく実践を通じて人間力を高める

スポーツを通じて豊かな人間性を養いながら、スポーツ科学と健康科学を理論と実践から学び、地域社会に貢献できる「スポーツ」と「健康」のスペシャリストを養成します。育てる人材の大きな柱は「アスリート・指導員」「体育教員」「公安・公務員」「スポーツビジネス」の4つです。
トップクラスの競技選手が集い、最新の設備を整えた恵まれた教育環境の中で、経験豊富な教員が指導します。策を提案できる力を養います。

2021年4月設置構想中

栄養学部 栄養学科

入学定員 80名

知識と技術で健康を支える管理栄養士を育てる

誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指し、すべての人びとの人生に管理栄養士は関わっています。少子高齢化に対応する、食育、健康の保持・増進および治療・介護までサポートする食と栄養の専門職（管理栄養士）を養成します。卒業と同時に管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができ、豊富な経験と実績を持つ教員による徹底した国家試験対策で、難関といわれる管理栄養士の試験合格を目指します。

【新設及び入学定員の増加を計画している学部・学科の学納金】

経済学部 経済学科・経営学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時（前期）	200,000円	365,000円	135,000円	700,000円
後期	――――	365,000円	135,000円	500,000円
初年度年額	200,000円	730,000円	270,000円	1,200,000円
2～4年次（年額）	――――	730,000円	330,000円	1,060,000円

スポーツ科学部 スポーツ科学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時（前期）	200,000円	385,000円	170,000円	755,000円
後期	――――	385,000円	170,000円	555,000円
初年度年額	200,000円	770,000円	340,000円	1,310,000円
2～4年次（年額）	――――	770,000円	340,000円	1,110,000円

栄養学部 栄養学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時（前期）	200,000円	425,000円	215,000円	840,000円
後期	――――	425,000円	215,000円	640,000円
初年度年額	200,000円	850,000円	430,000円	1,480,000円
2～4年次（年額）	――――	850,000円	430,000円	1,280,000円

本学独自の奨学金 KGスカラシップ制度

Point 1 入学試験の成績から奨学生を選抜！国公立大学並みの学費を実現！

KGスカラシップ制度対象入試に出願し、入試成績が基準に達した合格者からランク別に奨学生を選抜し、授業料全額（SAランク）や授業料半額（SBランク）、年間20万円（Aランク）の奨学金を給付します。

Point 2 2年次からも新たに奨学生を選抜！ SB→SA、A→SBランクUPも！

2年次からでも新たにKGスカラシップ生として奨学金の給付を受けることができる奨学金制度を設けています。前年度の学業成績において優秀な成果を収めた学生に対して、追加認定やランクアップするチャンスもあります。

Point 3 公務員や教員、大手企業を目指すキャリア講座の受講料が減免に！

KGスカラシップ生に認定された学生は「KGC（金沢学院キャリア）講座」や教職センターの教員採用試験対策講座の受講料が免除または減額となります。 ［●SA・SBランク（受講料免除）、●Aランク（受講料減額）］

金沢学院大学

■経　済　学　部 ●経済学科 NEW ●経営学科 NEW
■経済情報学部 ●経済情報学科 NEW
■文　学　部 ●教育学科（2専攻/小学校・中学校教諭、幼稚園教諭・保育士）
●文　学　科（4専攻/日本文学、英米文学、歴史学、心理学）
■人間健康学部 ●健康栄養学科（石川県内唯一の管理栄養士養成課程）
●スポーツ健康学科（4専攻/アスリート・指導員養成、体育教員養成、公安・公務員養成、スポーツビジネス）
■芸　術　学　部 ●芸術学科（5専攻/絵画、造形、デザイン、映像、メディア）

金沢学院短期大学

■幼児教育学科（幼稚園教諭・保育士養成）
■食物栄養学科（栄養士養成、8年連続就職率100%）
■現代教養学科（3コース/公務員・一般事務、観光・ホテル・ブライダル、ICT・簿記会計）

〒920-1392 金沢市末町10
【受験生専用】フリーダイヤル 0120-367-984
金沢学院大学 検索 www.kanazawa-gu.ac.jp

資料３

地域別人間健康学部健康栄養学科への志願者数／入学者数（過去４年間）

地域	県名	平成28年		平成29年		平成30年		平成31年	
		志願	入学	志願	入学	志願	入学	志願	入学
北海道	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	6県	1	0	4	0	3	2	2	1
関東	1都7県	2	0	1	0	3	1	0	0
北信越	新潟県	15	4	26	8	14	2	20	3
	富山県	62	12	57	17	42	13	68	14
	石川県	155	56	107	38	131	54	166	54
	福井県	1	0	9	0	3	1	5	2
	長野県	9	2	6	1	1	1	10	2
東海	4県	2	0	1	1	2	2	3	0
近畿	2府4県	0	0	4	2	1	0	1	1
中国	5県	0	0	0	0	0	0	0	0
四国	4県	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	8県	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		5	2	0	0	0	0	0	0
合計		252	76	215	67	200	76	275	77

※数値は、志願者および入学者の出身高校所在地に基づく集計結果である。
※区分は以下の通り
東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
※「その他」は、全国に複数の学修センターを持つ広域通信制高校や
高等学校卒業程度認定試験等を指す。

資料４

北信越における栄養系学部・学科の入学志願状況

県名	大学名	学部名	学科名		平成２８年	平成２９年	平成３０年	平成３1年
福井県	仁愛大学	人間生活学部	健康栄養学科	入学定員（人）	75	75	75	75
				志願者（人）	201	177	160	141
				入学者（人）	71	78	78	72
				定員充足率（%）	94.7	104.0	104.0	96.0
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康栄養学科	入学定員（人）	40	40	40	40
				志願者（人）	―	271	242	231
				入学者（人）	44	46	43	43
				定員充足率（%）	110.0	115.0	107.5	107.5
長野県	松本大学	人間健康学部	健康栄養学科	入学定員（人）	80	80	70	70
				志願者（人）	203	208	171	170
				入学者（人）	83	75	82	64
				定員充足率（%）	103.8	93.8	117.2	91.5

資料５

学校基本調査による全国的な志願者数、入学者数の推移

区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
私立大学全体	志願者数（人）	ー	3,220,379	3,384,813	3,644,995	3,949,766	4,266,924
	入学者数（人）	459,684	469,091	470,404	481,619	480,038	482,382
家政	志願者数（人）	ー	83,120	82,830	83,763	83,767	83,664
	入学者数（人）	16,652	17,165	16,703	16,951	17,021	17,260
家政学	志願者数（人）	ー	22,255	24,094	25,015	25,638	28,605
	入学者数（人）	4,712	4,757	4,657	4,588	4,470	4,680
食物学	志願者数（人）	ー	51,095	48,347	49,061	47,875	44,085
	入学者数（人）	9,064	9,492	9,121	9,416	9,468	9,139

※学校基本調査 関係学科別 大学入学状況より**修業年限4年の大学**を抜粋。
区分は、人文科学、社会科学、理学、工学、農学、保健、商船、家政、教育、芸術、その他で分類され、
家政は、家政学、食物学、被服学、住居学、児童学、その他で分類されている。
平成26年度は、入学者数のみのデータ。

資料６

私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

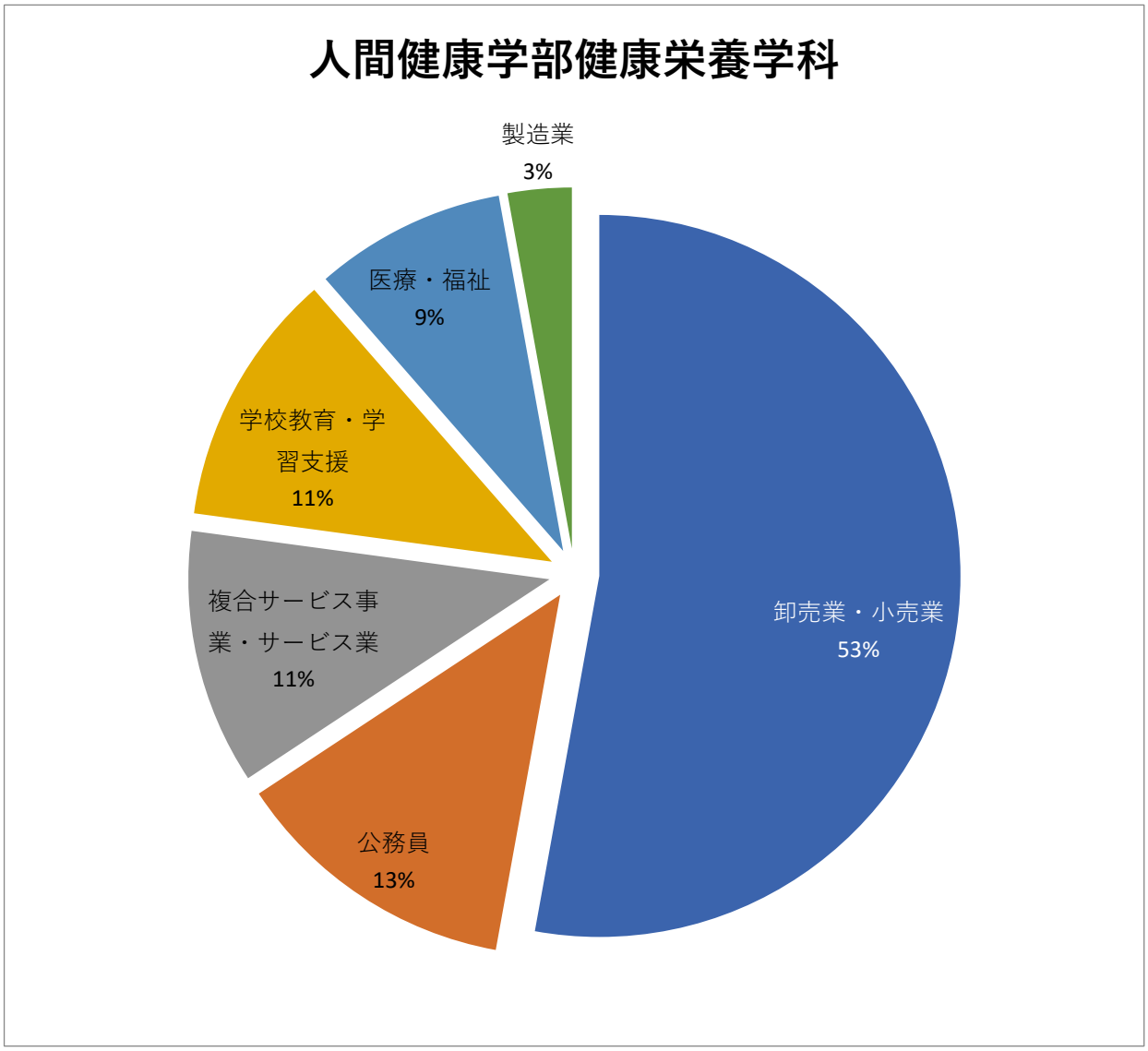
区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
私立大学全体	志願者数（人）	3,464,429	3,513,502	3,629,277	3,882,573	4,158,495	4,425,625
	入学者数（人）	477,631	487,061	488,209	499,678	497,773	500,083
家政学	志願者数（人）	81,097	78,182	78,959	77,566	77,099	75,721
	入学者数（人）	15,707	16,245	16,252	16,655	16,816	17,070
健康栄養学部	志願者数（人）	2,940	4,378	4,848	4,856	4,106	3,828
	入学者数（人）	801	999	1,030	1,061	1,035	1,027
人間健康学部	志願者数（人）	7,125	6,659	7,125	7,119	7,719	7,967
	入学者数（人）	1,033	1,105	1,162	1,398	1,565	1,639
栄養科学部	志願者数（人）	2,214	1,877	1,819	2,042	1,978	1,834
	入学者数（人）	496	498	491	610	608	624

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」主な学部別の志願者・入学者動向（大学）より抜粋。
区分は、医学、歯学、薬学、保健系、理・工学系、農学系、人文科学系、社会科学系、家政学、教育学、体育学、芸術系、
その他で分類され、
家政学は、家政学部、健康栄養学部、生活科学部、人間生活学部、人間健康学部、栄養科学部、現代生活学部、その他で分類されている。

資料７

人間健康学部健康栄養学科　就職状況

卒業年	就職者/ 就職希望者	就職者/ (学生数-進学者)	学生数	就職希望者	就職者	進学者
令和2年3月卒	100.0%	97.2%	75	70	70	3

資料８

人間健康学部健康栄養学科　令和２年３月卒業生の業種別就職状況